

# 臨調粉碎-10.11三里塚総決起! 貨物取場を守りぬくぞ 革マル送り込み分子-長谷川正彦 追放!



82.8.24  
No. 1129

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〜六(公衆)電話三二七二〇七

## 8/20 新小岩支部取場集会 開かる

新小岩支部は、8月20日12時から、株区講習室にて「オ二臨調基本答申粉碎・57・11ダイヤ改悪反対」にむけた取場集会を開催した。取場集会には60名の組合員が参加し、「臨調攻撃」と「11月ダイヤ改」にむけて闘う体制をつくり上げていくための熱心な討論がなされ盛り上った集会となった。

新小岩支部通信員発

### 「戦争準備の流れと対決する 労働運動を」松崎支部長が基調

集会は、若林書記長の司会ではじめられ、はじめに松崎支部長より基調報告がおこなわれた。松崎支部長は、「資本主義の危機が来るなかで、『教科書問題』にも示されるように戦争にむかっている準備がなされている。国鉄に対しては、7月30日臨調基本答申発表をもって、緊急措置11項目という

動労千葉は、こうした戦争と反動の道をはね返し臨調攻撃を粉碎していく道を「三里塚を闘う労働運動」という形で闘っている。合理化攻撃をはね返していくためにもこの闘いは重要だ。10月1日には三里塚現地で大集会が開催される。この集会を圧倒的に大成功させ、その力で、国鉄労働者にかげられた攻撃を粉碎しよう。とのあいさつをうけた。最後に司会の若林書記長のまとめをうけて取場集会を終了した。

### 革マル送り込み分子「長谷川正彦 追放! 臨調粉碎・貨物取場を守りぬくために支部一丸となって闘う。」

本部長は、若林書記長の司会ではじめられ、はじめに松崎支部長より基調報告がおこなわれた。松崎支部長は、「資本主義の危機が来るなかで、『教科書問題』にも示されるように戦争にむかっている準備がなされている。国鉄に対しては、7月30日臨調基本答申発表をもって、緊急措置11項目というかたちで攻撃が強められている。動労本部の反動分子は卒先してブルトレ旅費の返着に応じている。彼らは単にブルトレのみにとどめるなどと言っているが、実際には他の検修、さらには指導乗車なども監査に入っている。このことを見ても彼らの裏切りははつきりしている。又、現場協議制度の改悪も11月強行実施しようとしてきている。

その後、支部乗務員分科は乗務員誌所で毎月恒例の乗務員分科例会を開き、更に「こんだ討論を行ない闘う体制をつくり上げていく。」

こうして取場既得権を守る闘いと共に、57・11ダイヤ改にむけて闘うためにもより一層団結をうち固めていこうと提起した。

新小岩支部は、これまで7月7日、30日と取場集会を積み上げ、臨調攻撃とこれと軌を一にした動労千葉破壊を目的にした革マル分子長谷川正彦送り込み(転勤)などに対して、粗粒強化をかちとってきた。そして、この日の取場集会をもってより一層の団結をうち固めている。

### 10.11三里塚集会の成功をバネ に、57.11ダイヤ改阻止へ

本部・片岡教宣部長ありさつ

つづいて本部・片岡教宣部長より、「今、軍事大団化の動きが激化している。これは支配階級が今までどおりにはやっつけられなくなってきたことを示している。そしてその突破をかけて戦争と反動の道へ踏みこんできた。臨調攻撃も国鉄労働者の闘いをおしつぶすことが目的だ。そして動労本部の革マルはその先兵となった。

一方、「本部」派「テッチあげ」支部は、今「動労全国大会」には、「代議員すら出せないまでに凋落してきている。革マル分子「長谷川」を送り込まねばもたないところまできている。臨調の先兵、オ二鉄労となった動労本部を粉碎一掃して、戦争と反動の道を許さず、貨物取場を守りぬくために新小岩支部「一四一名は支部の団結をうち固めて闘いぬいていく。」